



とよおか

第 22 号

平成16年1月30日

# 議会だより

発行 / 豊丘村議会 編集 / 議会だより編集委員会 印刷 / ユニプリント㈱



平成16年成人式より

## 12月定例会

12月定例会の様子 .....	2 ~ 3
予算特別委員会の質疑より .....	4 ~ 5
高森町との資料造り報告・議員交流会・流域協議会 .....	6 ~ 7
一般質問の様子.....	8 ~ 15
委員会だより .....	16 ~ 17
私の一言・北部合併研究会・編集後記 .....	18



この議会だよりは、再生紙シュールコートを使用しています



平成17年度改築が待たれる中学校本校舎

# 12月定例会

災害復旧 広域農道他復旧工事費 3700万円  
 福祉センターの屋根工事費 830万円

平成十五年第四回定例会が十二月一日から十八日までの会期で平成十五年度一般会計他、四つの特別会計補正予算案と五件の陳情、請願などを審議した。議員提案の二件の意見書案も原案通り可決されました。

## 補正予算

### 一般会計

平成十五年度一般会計補正予算は規定の予算の総額に二億五千四百五十万三千円を追加して総額三十九億七千七百四十六万六千円とした。

議会費は人事院勧告にともない議員報酬七十九万四千円を減額。総務費関係では一般管理費で人事院勧告や職員退職等で、給料六百六十五万円と、職員手当一千百六十六万円の減額となりました。

委託料の八百七十五万円は、二系統で運用されているコンピュータシステムのうち、(株)リンクスを廃止し、(株)電算に統合しより効率的な運用体制とするものです。

「ホームステイ参加者九名減で百八十万円減」

企画費関係の減額百八十万円は派遣研修事業補助金で、ホームステイ参加者が当初二十名計

上していたのが十一名の参加で九名少なかったため減額となつた。

「インターネット接続は本年度内に」  
 有線事業費の委託料三十二万円は、有線のデジタル化とインターネットの接続に備え、飯田ケーブルテレビと、光ファイバーで結ぶため、飯田市堺から役場まで敷設するための設計委託料です。インターネット接続は本年度内に完成させ、免許取得までは試験的共用で提供していくとの答弁あり。

「福祉センター屋根に八百三十万円」  
 社会福祉施設費の工事請負費八百三十万円は、福祉センターの雨漏りがひどく屋上に屋根をかける費用です。質疑の中で、老朽化も進み旧役場庁舎跡地利用関連で、当面緊急避難的に対応で、入札も提案型にし、より効率的な対応がとれるようにしたいと答弁あり、工事の発注に当たっては、村内の小規模業者にも発注するよう配慮をとる要望がありました。



「ゴミ収集四百六万円の減」

衛生費関係では人間ドックの受診者などの減により百八十万円の減額、清掃費の委託料四百六万円の減額。内訳は古紙、古布が有料だったものが無料になり九十万円の減、粗大ゴミが九月の実績分で三十五万円の減、容器包装プラビニが七十万円の減、紙制容器包装は百六十五万円の減でいずれも単価の引下げにより減額となった。

「有害鳥獣の捕獲三百六頭」

農業振興費では有害鳥獣防除対策事業補助金二百六十八万円追加。内訳は網、柵五十万円、鹿九十頭、猪五十頭、熊一頭、猿五匹の、計百四十六頭分です。なお当初と合計すると三百六頭捕獲した事になります。

林業費の委託料十万円は中学校の四季の道周辺の整備(つた切り)です。

「広域農道未開通で黒谷線に調査費」

土木費は道路新設改良費の調査委託料百万円。黒谷線改良調査費用で、地元の要望と広域農道が未開通で終了したため、対応するものです。工事請負費八百万円は、辺地債対象道路の芦川入、細畑線で補償金の同額を工事費に振り替えるものです。

「中学校本校舎改築準備委員会を二月に立ち上げ」

教育費は南北小学校のコンピュータ使用料の不用額の減額、パソコンの入替に伴い保守料が不用となったため。中学校費の報酬十四万三千円は中学校本校舎改築準備委員会を二月に立ち上げ、平成十七年度に改築しようとするもので、耐力度調査も終わりに改築に向け具体的な検討に入るものです。

「農林水産施設災害復旧費の項を新設」

災害復旧費は農林水産施設災害復旧費の項を新設、四百五十万円を追加、山田の耕地災害に百七十八万二千円。大島虻川線

に二百二十八万四千円の追加。

公共土木施設災害では広域農道喬木との村境他六ヶ所の災害復旧に三千七百万円を追加し、村単災害復旧費で滝川線他九カ所で六百万円増額補正するものです。

「公共事業の事前チェック体制の強化を」

尚、質疑の中で公共施設工事における設計、管理者の責任範囲を明確にし、安易に設計変更等に依る事なく、事前のチェック体制を強化し、効率の良い行政運営につとめ、不用な支出を生じさせないよう、特段の努力を図りたいとの意見が多く出され、理事者より今後充

分注意し努力するとの答弁がありました。

歳入

村税の個人村民税は所得割七百六十万円の減額。固定資産は土地の課税見直し等により一千二百二十万円の増額。地方交付税が確定し、四百九十五万円の減額で、総額十四億八千六百五十万六千円となった。その他前年度繰越金二億三百八十三万二千円など総額二億五千四百五十三万三千円となった。

「国民健康保険特別会計」

規定の予算総額に九百六十万円を増額し総額四億五千八百九十三万三千円となりました。一般療養給付金千六百万円、一般療養費百二十万円、出産育児一時金五件分百五十万円となっております。

「介護保険特別会計」

規定の予算に五十六万一千円を増額して総額四億三千三百十五万四千円となりました。

「簡易水道特別会計」

人事院勧告との移動に伴い一般管理費を減額して、予備費に振り替えるもので、総額一億八千五百二十二万九千円には変わりはありません。

「下水道事業特別会計」



陳情・請願

- 中国残留孤児帰国者の援護に関する請願 採択
- 医療費負担の軽減を求める陳情 不採択
- 介護保険制度の改善を求める陳情 不採択
- 安心できる年金制度の確立を求める陳情 継続審査
- 国立病院の独立法人化にあたり、国立病院の機能強化および賃金職員の雇用継承と医療、看護体制の拡充、院内保育所の継続を求める陳情 採択
- 清潔で公正公平な国民奉仕を貫く公務員制度確立を求める請願 趣旨採択

これも人事院勧告と移動に伴い一般管理費を増額して、予備費から充当するもので、総額三億六千八百八十二万七千円には変更はありません。  
議員提案の意見書  
イラク特措法による自衛隊派遣に反対する意見書  
保育所運営費国庫負担制度の堅持に関する意見書

# 会の質疑より

## 設計変更等につき安易な対応に苦言が

十二月補正予算は総額二億五千四百五十万三千円を増額するものとする。厳しい財政運用の中、福祉センター改修についての効率を望む声、設計変更についての村の対応について厳しい指摘の声が相次いだ。主な質疑は次の通りである。

### 財政会計システムが更新される

唐沢議員 電算業務委託について、業者変更があるのか。更新する場合いつからか。

毛涯課長 財務会計システムの更新を行いたい。老朽化が、いちじるしいので現在のもので十五年度の決算までを打ってから、新しく働電算に更新してゆきたい。

### 光ファイバーの接続は間近に

下平豊久議員 光ファイバー接続により住民台帳との接続は可能か。

毛涯課長 まだそこまでは出来ない。村内のインターネットに接続して利用出来るようにする。

唐沢議員 村民にとってのメリットはあるのか。

毛涯課長 料金は特別安くない。

い。個人の利用度によって自分で選択出来るものかと考えている。

丸岡議員 有線の環境整備がいつ頃から出来るのか村民に知らせたらどうか。

毛涯課長 インターネットの設備については三月いっぱいに行なって、試験的に接続し平成十六年四月以降に申請を出そうと考えている。

丸岡議員 特定の人の為に公金を使うことに疑問といった見方もある。少人数の利用では問題。やってみてみたい人が多くなければと思う。

### 福祉センターの改修は当面雨もりの修復に

北沢議員 福祉センターの雨もりの改修に、結構な金額もかかり、又、その他にも悪い所があると聞くが、センター改修についての根本的な考え方を聞きたい。

奥山助役 今後の課題としては



老朽化の進む福祉センター

役場跡地利用、又、二月には法務局も撤退してゆく事も決まり、今後周辺一帯をどう利用してゆくか検討すべきである。福祉センターについては、すぐに建て替えという状況にないことから今回雨もりを直すのみとしたい。

北沢議員 建物内部の配水管も老朽化し水漏れもおきていると聞くので、五年から十年持たせたいと言う事であれば、あちこち少しづつ直すのではなく、見通しを立てて直していかないと財源的に無駄も出てくるので配慮してやってほしい。

### 各種検診の受診者が減る傾向に

川野議員 以前より豊丘村のガンの発生率が近隣の町村の中で高い方と聞くが検診の効果との関連をどう、とらえているか。

伊藤課長 胃ガン、大腸ガン、人間ドック等それぞれ、予想より、今回受診者が四十人位づつ減った。検診については、個人の予防意識に訴えるものである。早期発見に直接つながらない。豊丘村のガンの発生率は他と比べて特に高くないと認識している。



# 予算特別委員

## 中学校改築に向けての 今後の取り組みは

**下平喜隆議員** 中学校改築準備委員の構成についてどのように考えておられるか。中学校の現状は。

**教育長** 基本的には体育館建設の場合と同じように考えている。中学校の改築については、一見まだ充分使えそうに見えるが、特殊な工法を使って建てられており廊下から教室に向かって、はりが細くなっている。は



使いがったの悪さが浮きぼりにいいこの家のお風呂

## 「憩の家」の改修後の 使いがったの悪さが 浮きぼりに

**北沢議員** 最近全面改修が終わりに新しくオープンした「憩の家」について、利用者の中から風呂場の使いがったが悪いという声

りがある。現場を見てきた。女性が他の風呂については、換気が悪く、天井や壁に水滴がたまり落ちてくる。排水の穴も小さいので汚れたお湯がすぐに引けていけない。男性用風呂についても、湯船のすぐそばに身体を洗う蛇口があるので、体を洗ったお湯が湯船の中に入るとい

があり、現場を見てきた。女性が他の風呂については、換気が悪く、天井や壁に水滴がたまり落ちてくる。排水の穴も小さいので汚れたお湯がすぐに引けていけない。男性用風呂についても、湯船のすぐそばに身体を洗ったお湯が湯船の中に入るとい

## この他に主な支出は

寝たきり老人等住宅整備事業補助金に、二百六十万円。七戸分。

障害児放課後交流促進事業負担金に二十一万六千円。豊丘の児童は三名。

有害鳥獣防除対策事業補助金二百六十万円。予想以上の捕獲となった為。鹿百七十頭。猪百三十頭。サル五匹。熊一頭。

里山整備支援事業委託料、十万円。中学校周辺の整備。

道路新設改良費の調査委託料。百万円。広域農道の末端から県道に向けての黒谷線改良について地元からの要望に伴うもの。



飯田市への移転が決定した法務局



# 高森町議会との交流

## 町村めぐりと意見交換

高森町、豊丘村との合併研究が行われている中で、議会同士の交流も必要との申込みを行い実施となりました。

十一月二十六日、まず双方が互いに相手先の町村の視察を行い、高森町の皆さんは、豊丘村の東洋大学セミナーハウス、老健施設「林の杜」建設予定地、村民体育館、原木門の廃棄物処分場建設現場、等村の中山間地域を中心に視察、一方豊丘村の議員は、高森町の時の駅、牛牧のあんしん市場、湯ヶ洞、大鳥山の高森ドーム、出原のラン植作物園、山吹森の家、新田の会所と住宅団地造成地、丸山公園など町の職員の案内にて巡りました。

高森側から見ると豊丘村は中央に天竜川はあるものの地形的にも一本化している感じに見えました。

視察後、豊丘村役場にて、各常任委員会ごと三会場にて、それぞれの当面する問題について意見の交換を行いました。

町村合併の問題、議会のあり

方や活性化、天竜川架橋問題、農業振興や、後継者問題、「あさぎりの郷」のシヨウトステー五床の未利用の問題などの話し合が行われました。

# 地制調最終答申

地方自治体が注目をしていた、地方制度調査会の最終答申が十一月十三日発表され、合併特例期限到来後の基礎自治体について、新しい法律を制定し、一定期間、さらに自主的な合併を促す。

この法律は、合併の障害を



真剣に審議する北部議員総会

除去するための特例を中心に定め、合併特例債等の財政支援措置はとらない。

小規模な市町村としては、おむね人口一万人未満を目安とするが、地理的条件や人口密度、経済事情のほか、現行合併特例法の下で合併を行った経緯を考慮する等となっています。

# 北部ブロック町村議会

## 陳情報告

七月開催した「北部ブロック議員研修会」で、各議会から提出された十四議題について、慎重に審議がされ各項目とも採択されました。

それを受けて八月十一日に正副議長、事務局長会議を開催し検討をした結果九議題に統合して県及び県議会に対し要望、陳情を行うこととなり、十月六日に出席し、県知事及び県議会に対し要望・陳情を行いました。

その結果について県より報告がありましたので報告致します。

精神保健福祉社会復帰施設整備の促進について 採択  
遊休農地解消につながる事業の推進を図るため、地域づくり総合支援事業の予算枠を拡充することについて 採択  
森林の環境と保全対策への取り組みについて 採択  
県道上飯田線の改良促進について 採択  
土砂災害防止事業の促進について 採択  
主要地方道松川インター大鹿線、松川大鹿線改良促進について 採択  
学級編成の基準の改善等について 継続審査  
長野県独自の三十人規模学級の早期実現について 継続審査  
教育施設の充実について 継続審査



# 質

# 問



防除ヘリの準備の様子

## 質 平成十六年度の予算編成について 答 計画された事業を重点に

菅 沼 明 人

**質問** 平成十六年度の予算についてはきわめて厳しい財政状況の中で地方交付税の減額、村税も減額の予想であり、自主財源がきわめて少ない中での予算編

成となると思います。

そこで平成十六年度の重点事業について、村長の答弁をお願いします。

村長 通常国会は一月十九日

## 質 松くい虫被害林の影響と対策は 答 森林機能の維持保全は課せられた義務

村 松 正 三

**質問** 豊丘村に松くい虫被害が及んで久しく、今や一億円をもち投じ、被害地帯と未被害地帯との境界地帯を中心に、空中、伐倒面から駆除事業が行われていますが、一方下段地帯ではその被害の拡大速度は予想をはるかに上回り、松全滅の状況であります。

立ち枯れた松が立ち並ぶ中、場所によってはその地肌をむき出しにし、薫蒸処理されたものにあつては被服ビニールが太陽にまぶしい状態を村内各所で目にします。

そういう状態を目にした時、今後への懸念・危惧する点を持たずにはいられません。

私は多かれ少なかれ、防災面、環境面、産業面など各方面へ、松くい虫被害の影響が及ぶと考えています。今後村としてこの

松くい虫被害林を中心とした里山再生対策を、どのように進めていくのか、村長にお伺いします。

**村長** 現在のところ樹種転換事業、保全改良事業などを利用しながら、森林の保全再生に努力しているところであり、今年度から新たな県事業を取り入れ実施して行く予定で、期待をして行き度いと思えます。

森林の持つ私達の生活に大きな機能を、維持保全していくことが私達に課せられた義務であると考え、このため今後も補助事業、また県事業をうまく取り入れながら事業を進めていきたいと考えております。

(総務課長、環境課長、産業建設課長への松くい虫関連の質問と答弁、地震など防災対策に関する質問と答弁は割愛)

頃開会の予定で、そこまではまだまだ予算的に流動的かなと考えておりますが、補助金を削減するんだという中で、十六年度の予算編成をしてまいりたいと思っております。

第四次の豊丘村の総合振興計画に基づきます五年間の実施計画、これについてそれぞれ年度区分別に大きな事業について拾い上げてありますのでこの計画された事業については実施して







# 般



高森町の蘭ミュージアム

いくよう取り組んでいきたいという考え方を基本に持つて参りたいと思います。

その中でも伴野工業団地の下水対策、公共下水道への村の処理場へのつなぎ込み、長沢の簡易水道の改良、中学校の本校舎の改築、設計委託を十六年度、十七年度に工事着工、村営住宅対策委員会の発足、図書館建設、広域農道先線の問題など山積し

ております。

**質問** 行政改革の取り組み状況を答弁お願いします。

**村長** 行政改革の本部会を置いて検討を重ねていますが、まず人件費の削減については、退職職員の不補充組織の見直し、また超過勤務を無くして、各課の統廃合など合理化に努力します。

## 質 合併問題の本質とこれからの課題

### 答 段階的に少しずつ合併

下 平 喜 隆

**質問** 今なぜ合併なのか。七百兆円に上る借金もさることながら日本の構造改革を成し遂げないかぎり日本再生はない。つまり中央集権から地方分権型の社会転換しなくてはならない。そのためには受け皿となる基礎的自治体に今まで国や県が行ってきた専門的な諸問題に対応できる専門職員の配置が必要となる。だから私は合併を通じてこの豊丘村の将来、目先ではなく五年十年先を考えながら合併問題に対処する必要があると思う。高森町に一方的に合併を願っている村長としては任意合併協議会の申し入れをいつの時期に行うのか明確に答えていただきたい。

**村長** 議員はじめ村の多くの皆さんと相談して決めたい。

**質問** 合併問題は思想だと思っ



社会委員会の視察より

**村長** としての考えを明確にして欲しい。私は将来的に考えれば今飯田市と合併することが望ましいと思うが村長としては二十年の飯伊の姿をどう考えられるか。

**村長** 私としても最終的には一群一市が理想と考えるが段階的に少しずつ合併して行きたい。

**質問** 潤沢な交付金が激減するなかで行政としてもコスト意識が求められる。限られた予算を効率的に行政サービスに分配し、施行できないと住民の支持はえられない。その意味では顧客のニーズに対応できた企業のみが生き残れる現代において行政と企業は同じではないか。

**村長** 利益を求める企業と税金でまかなう行政は違うと思う。

# 質

# 問



せまい書棚に本がぎっしり

## 質 図書館建設について

### 答 法務局を有効活用したい

川野孝子

## 質 使途変更は村民の合意必要では 答 説明責任はある

片桐秀人

**質問** 平成十年から条例を制定して積立て来た、公共建物整備基金は現在五億五千万円に達している。これは役場跡地に文化施設を建設することを目的に積

んで来たものであるが、最近中学校校舎の改築が緊急課題となつて来たために、この財源に当てたいとの意向を村長さんは言い出している。当然校舎改築

は重要であり、やらなくてはならないものである。文化施設建設も過去の一般質問に対する村長さんの答弁でも建設を約束して来たもので、これもやらなくてはならない課題である。

今の財政事情から、この基金を校舎改築に当てたいとする考え方は理解できるが、村民の合意を得る必要があると思うが。  
**村長** この基金の使途については就任以来そのような考え方に

**質問** 図書館建設が望まれる大きな理由のひとつとして、河野の今は亡き代田昇さんより村に寄贈されている二万三千冊余の文庫本がそのままの状態になっていることがあげられる。今後その文庫をどの様に、生かす考えを持っているか。村長と教育委員長に聞きたい。  
**村長** 図書館を建設して有効に活用させて頂きたいという思いで代田先生より本を譲っていただいた経過がある。  
しかし、今財政状況が非常に厳しく、現在ある施設を有効に生かす事が大切と考える。法務局の飯田市への移転も決まり現段階としては法務局を有効活用したいと考えている。  
**毛涯教育委員長** 子どもたちの心の健全な育成には、読書が非常に大切だと考える。健全な精

神を持ってもらう事、これが文化の薫り高い村づくりの基本であると思う。文庫本活用の基本理念として捉えている。代田先生より寄贈された多くの本については、先生の気持に添えて大切に活用してゆきたい。  
**質問** 図書館建設の実現に向けての取り組みに検討委員会を立ち上げて頂きたいと考えるが村長にその考えはあるか。  
**村長** 検討委員会については、今の建物の内部改修ということなので特に考えていない。  
**質問** 旧役場跡地利用に村長としての夢はあるのか。  
**村長** 厳しい財政運用のなかで、今大型事業の何を優先していくかがさし迫っている。やはり、中学校の改築が当面大きな事業として目の前にある。







# 質

# 問



晴天のもと身をひきしめて（平成16年出初め式より）

## 質 児童クラブ利用状況は

### 答 今、登録は多いが実際は三十人台

片桐 真理子

**質問** 豊丘村の児童クラブはNPOに委託している。工夫をし、良い取りくみである事は実感している。しかし運営費の面で、近隣町村とのひらきがあったの

で様子を聞いてみた。その結果、取り組み方法、利用する施設等の違いもあり、運営費だけでは一概には言えない面もあった。しかし利用者が少ない事は事実

## 質 広域行政の充実、拡大に活路を

### 答 本気で前向きに検討すべき時期

丸岡 茂

**質問** 消防救急、ゴミ処理等事務事業の広域連帯・共同処理が果たす役割は大きい。小規模町村が生き残るための知恵と考える。南信州広域連合の更なる充実がのぞまれる。連合長（飯田市長）や町村長の広域連合にかける温度はどうか。

**村長** 十八市町村もあると意見、見解など様々でとりまとめにも苦労は多いが、協力しあおうという互いの理解はあると思う。

**質問** 運営に関し疑問もある。例えば昨年の『あり方研究会』は、一郡一市を中心に合併問題の検討にまで踏み込んだ。広域連合の使名を逸脱し、民意の反映もない。

**村長** 合併問題の取り組みが遅れている中で、飯田市を中心に、各町村からも担当者を出して研究が必要と判断された。情報交

換も有益だ。

**質問** 検討まで踏み込んだことに疑問と言っている。合併問題は今後の自分の自治体をどうするかという点で総合振興計画の策定と同じ。広域連合でその枠組みを決めるなどあり得ない。結果として各町村の研究を拘束し遅らせた。広域連合を県と市町村に介在するが如き組織にしたら、健全な発展はない。発足から五年。新たな事務事業の拡大は検討されているか。

**村長** 研究が予定されている。

**質問** 飯伊地区の高齢化の進行に対処するため、例えば国保事業の一本化。将来は全県の一本化を標榜するような、共同処理というより可能な特定の事務を合併させるような発想はどうか。

**村長** そういふ検討も本気で前向きにすべき時期にあると思う。

である。多くの方に利用してもらえない事が、この制度のあり方だと思ふ。続けていって頂きたい制度であるので、財政が厳しい中、スリム化できる所はして頂きたい。案として二カ所の施設を一カ所にまとめる事はできないものか。

**村長** 登録では、河野地区四十五人、神稲地区八十人となっている。実際の利用者は、現在は三十人台であるが、長期の休み







# 般

には利用者が増える。そんな事から十六年度については、二カ所での運営が好ましい。他の町村と違い、責任者の取り組み、考え方も良く、利用者に好評を得ている。経費の面では、研究を深め、協力しあってももらえる所は、強くお願いをしていきたい。

**薬物乱用防止キャラバンカーの導入について**

**質問** 薬物乱用防止の教育の手段としてのキャラバンカーの活用は大変有効とされている。意識啓蒙を計る為、活用を行うて頂きたい。アルコール、たばこを含む薬物に関する教育はどのように行っているか。

**教育長** キャラバンカーの利用は中学三年生で行っている。最大の注意を払って進めていきたい。



林原ボランティアのお楽しみ会

## 質 障害者福祉の抜本改定について

### 答 措置制度から支援費制度に変わる

松井尚子

**質問** 障害者の福祉が措置制度から支援費制度になるということを新聞や報道で知り、調べてみました。それは介護保険や保育所の時と同じように、施設やサービスを自分で選び、契約するという制度ということで、行政が責任を持つ措置制度でないことであった。措置制度から支援費制度になって何が一番変わったか、新しい制度における村の役割は何か。

**村長** お話のように今年の四月から措置から支援費制度になったというふうなことであります。特にこの予算と致しまして、この関係で九百四十万円は予算化してあるわけでございます。特に障害者が障害福祉のサービスを受けるにあたって、在宅で利用できる、そんな居宅サービス施設につきまして、こ

のよな支援費制度に基づいたこの支援ができるようになったのでございます。

**質問** 市町村の役割が最大の仕事である支援費制度の段階認定サービスが必要量の認定について、今までの障害者手帳や療育手帳とは連動しないという事、入所やデイはあまりサービスは変わらないという認定する職員研修や訓練は十分できているか。

**住民課長** 確かにこの制度はそれぞれの町村の担当者のケアプランの立て方によって若干その差が出る可能性があります。飯田下伊那の圏域で担当者のレベルの調整会議をやったり、あるいは研修会をやっております。そういうことでできるだけある一つの地域では、同じ目線でプランを立てていきたい。



河野児童クラブにて

# 質

# 問



若い人たちの合併に対する意識は

## 質 来年度国保税はどうなる 答 十二月までの状況で判断

前 沢 光 昭

**質問** 村にとっては合併問題始め、財政的には交付税削減など予想される中で厳しい財政状況になるのは誰でも知っている。

現在の豊丘村の国保財政、医

療費給付状態、受診状態はどうなっているか。来年度国保会計にどのようになっているか。住民負担についてはどう考えるか。

村長 昨年より被保険者は六十

## 質 合併問題の今後の取り組みは

### 答 時期をみて高森町へ申し入れ

下 平 豊 久

**質問** 高森町との間で進められて来ました事務レベルでの、町づくり共同研究の報告書が十二月十日に両町村長に答申されたのを受けて、合併問題の今後の取り組みについてお聞きいたします。

一つは、高森町と豊丘村が合併したらどうなるかという視点で、具体的な資料を基に、合併する場合考えられる財政の優遇措置や負担、経費の増減等を加味し、その分析、比較に基づいて合併した場合の方向性と。

一方それぞれが自立した場合の方向性を具体的な資料と共にリアルな姿で浮き彫りにされていますが、村長の答申に対する基本的な受けとめと今後の合併問題に対する基本姿勢を聞かせください。

村長 高森町のご理解も得て短

時間での研究だが、両町村の行政中身の実態が客観的に表現されており、住民の皆さんに考えて頂く良い資料ができた。

**質問** 二つは、豊丘村ではいち早くアンケートを実施したが、その後の意向集約は充分と言えないと思うが、今回の共同研究の資料がまとまった状況のもと、共同研究の成果をどのように村民に還元し、高森町との合併に向けての村民合意の合意形成をどのように進めようとしているのかお聞かせください。

村長 住民の皆さんとの合意形成の手段として、村政懇談会・団体グループでの懇談会・情報誌の配布などをし、豊丘村のあるべき方針を為政者・村長として責任を持って打ち出していく。

九世帯増えている。医療費給付では昨年とくらべ会計年度変更で一ヶ月分多い事を考慮に入れても、九月時点で一千万円以上多くなっている。原因は被保険者の増とそれにもなう医療費

給付の増。十二月までの請求がこないとわからないが、今の伸びでは基金の取りくずしもあるかも。来年度の国保税はその状況を見てから判断する。

**再質問** 収支会計が合えばよい







# 般



滋 患 園 の ク リ ス マ ス 会 よ り

## 質 子育て支援について

答 これからは重要な課題の一つと思う

筒 井 博

**質問** 今後は核家族化が進む中で共働きの家庭が多くなると思っています。現在、南・中央保育所には特別保育（未満児保育、長時間保育）が行われております。北保育所にも同じような制度はできないでしょうか。

**村長** 北から南迄同じ様な行政サービスを考えているが一つには効率化の問題で頭の痛いところと云うわけにはいきませんが研究してまいります。

**質問** 次に児童クラブの内容充実についてでございますが、この施設は河野地区と伴野地区と二カ所にあつて民間の運営でそこへ村が支援をして豊丘村の児童が学校の放課後とか土曜日等に共働きの親が帰宅する迄預かってもらっている施設で建物は古いが室内はきれいに整理さ

れており指導の先生方も細かい処迄気を配つて仲々良い施設と思えます。いずれに致しましても将来特に河野地区へ若い人達が入つて来てもらえる様な住宅誘致の研究もされている中、こうした子育て支援の政策がとられておるとすれば若い家族で共働きしながら子育てしようとする家庭の誘致にも相乗効果が得られると思えます。北小学校児童数の減少にも歯止めをかけるければなりませんし総合的に考えていただいてより良い子育て支援に力を注いでいただきたいと思えます。

**村長** あまり経費をかけずにできるだけの支援をしていきたい。北へ人口増の誘導も必要ですから先行して考えたい。

というものではない。支払い可能な保険税であつてこそ収納率も維持できる。たとえ増税せざるを得ないときも低所得者に配慮した税率割合で検討してもらいたい。

**イラク自衛隊派兵村長見解は質問** いまだに戦闘状態の続くイラクに自民・公明の与党は戦後始めて日本の軍隊である自

衛隊を派兵しようとしている。国民世論は七割以上の人が反対でこれほどわかりやすい話はないと思うが、村長の見解は。村長 イラクへ今の形で自衛隊を派遣する事は反対である。国連の関与強化必要で、アメリカ人は言えばわかると思うし、日本政府はこのことを自信と勇気をもってアメリカに言うべきと思う。



検診で予防医療を

# だより

## 総務

### 総務委視察報告

**東海地震に対する観測の現況**  
東海地震が本当にあるとすれば、その時へ確実に近づいていることとなります。普段からの心構え、防災対策の参考に地震予知対策の現況を視察しました。

**国土地理院東海機動観測基地（掛川市）**では、全国二十四力所に設けられた電子基準点（人工衛星から電波受信）間の地殻変動を監視。二〇〇一年初頭より異常変動が観測されているという。

**気象庁御前崎測候所（御前崎**

町）では海底に地震計を設置。最先端は御前崎沖百十キロメートル、水深二・二キロメートルで、海洋プレート沈み案配を監視。

付随する観測も含め、東海地震に関しては予知の可能性は高いとされているようですが、日本列島が絶えず動いていることを目の当たりにし、改めて現実的な実効ある防災対策の必要性を考えさせられました。

**総合型地域スポーツクラブ**  
より多くの方がスポーツを楽しむのに必要なのは、気軽に参

加できる環境です。  
愛知県半田市では、平成六年度から総合型地域スポーツクラブの設立に取り組み、国のモデル事業を取り入れながら、中学校通学区ごと五地区すべてに設立を完了。スポーツの普及に民生活を導入した形で、各クラブが市の補助金と会費でそれぞれ独自・自主的な運営を行っています。メニュー、やり方、やるべき等々、やるう

として人達自身が決める理



気象庁御前崎測候所の視察

屈で、現在は住民の三分の一強が週一回以上何らかのスポーツをしています。  
総務副委員長 丸岡 茂



## げの町、綾町

経済建設委員で宮崎県綾町を視察しました、山林が総面積の八十%を占め、かつて夜逃げの町、人の住めない町と言われた過疎の町が現在は、町を訪れる人は年間百二十万人・照葉樹林都市・有機農業の町・一戸一品運動の町・そして、一人ひとりの町民が生活文化を楽しむ町へと変貌し観光客はもとより、村起こし、町起こしの先駆的モデル

ルとして学びに訪れる人も後を断たない現在、町づくりとは何か、本物の行政とは何か、行政への寄りかかりを排して、住民一人ひとりの自主・自立の心をよび覚ます自治公民館運動の展開によって過疎の貧しさから抜け出し、結（ユイ）いの心で町を蘇らせた。

大きな原動力は六期二十四年間町長をつとめた郷田実氏であ



# 委員会

## 社会

### 古紙再生業者

#### などを視察

社会委員会で愛知県春日町にある古紙、紙製容器の収集分別を行う「(株)宮崎」、滋賀県のケアハウス「さかた」、福井県の障害者支援をネットワークで行う「Cネット福井」の三カ所の視察を行う。

「宮崎」はおもに新聞紙、広告、牛乳パック、企業から出される紙製品などを収集しており、以前一時期豊丘村の業者とも取引があったそうです。ほとんどが手作業で大変な仕事です。最近では収集したのもアメリカから輸入されるそうで、アメ

リカから来るものはパルプから直接作ったものがほとんどで良質な再生紙が出来るようです。アメリカでは収集再生ということとはほとんどやっていないとの事です。

牛乳パックなどはメーカーや種類の違いによって作り方も違うため、人手による分別が必要になります。

豊丘村も紙製容器の収集は最近始まったばかりであり、定着していないので、これからまだまだ周知が必要ではないか。このあと訪れた、「ケアハウ

社会副委員長  
前沢光昭



古紙分別作業



日本一の「綾照葉大吊橋」

## 経済建設

### ユイ 結の心 夜逃

る行政の役割は、トレンド（方向、近未来像）を示すことが大切で、住民自らがつくり出すよう自治の心を支援していくことではないかを基本に町民一丸になつて努力し人口一万人にも満たない町が全国的に有名になつております。

トレンドの大事業は一九六六年町長に初当選した郷田実はその二ヶ月後、営林署から綾町の

国有林の伐採計画を持ち込まれ、伐採は一時的には町への経済効果があるが、後ははげ山しか残らない、美しい綾町の照葉樹を未来に残すために農林大臣に掛け合い、中止に成功した。有機農業では自給肥料供給施設で尿から生ゴミまでのすべてを回収し肥料化し土に還元をして活用しています。

経済建設副委員長 菅沼明人

シリーズ「私、がんばっています」

第二回は、葛蒲ヶ沢で酪農に頑張っておられる久保田友子さんにお話を伺ってきました。

久保田友子さん(四十八才) お母さんの五人家族。取材には、ご主人と二人の息子さんと伺った十二月十六日は、前日に



新春をお慶び申し上げます。月日のたつのは早いもので七度目の申年が巡って来ました。

大正九年生まれの私が初めての集団生活の場としての小学校に上がったのは昭和という時代に入った最初の入学式で有りました。そしてあの昭和初期の農村大不況時代、また満州事変に始まり終戦迄十五年もの戦乱に明け暮れた昭和前半の時代を少年時代、青春

私の一言

昭和初期の農村大不況時代、また満州事変に始まり終戦迄十五年もの戦乱に明け暮れた昭和前半の時代を少年時代、青春

申年を迎えて思うこと

北村 田中芳美

時代として過(り)して来ました。小学校卒業時男子同級生七十余名のうちより二十名余の懐かしい友が戦場の露と消え去りました。もう少し長生きして呉れたらなあと残念でなりません。それにしても純真な子供達を初め、全国民を一つの方向に向けていった当時の指導者、また教育の力の大きさを痛感致しております。

悲惨な時代を生きた一人として、昨今の新聞テレビの報道記事を見る毎に、地球上から戦争やテロの文字の一日も早く消える事を願っております。

長い様で短くも感じた八十年で有りませんが、残された人生を家族や地域の皆様の御支援を頂き少しでも健康で明るく平和に過ごしたいと思っております。

舞った雪で橋の辺りはまっ白に凍っていました。無事、久保田牧場に到着。いやじゃなかったら入ってと言って下さったので、牛舎の中に入って写真をとらせてもらいました。子牛を含め六十二頭の牛がむかえてくれました。朝は五時半から仕事が始まりました。友子さんは次男が仕事に出る為、朝食の準備があり六時から牛舎に入ります。家族四人で、掃除、餌やり、乳しぼり等分担し、朝食は八時半頃になるそうです。餌は一日四回。ご主人とは青年団で知り合い結婚。牛を一緒にかう事は、結婚の時の約束。実家のお父さんは、娘を思いやり牛をかうなんて無理だと反対をされたと話してくれました。「うれしかった事は？」との問いに「長男が、自分から酪農の仕事を継いでくれた事。本当にうれし

舞った雪で橋の辺りはまっ白に凍っていました。無事、久保田牧場に到着。いやじゃなかったら入ってと言って下さったので、牛舎の中に入って写真をとらせてもらいました。子牛を含め六十二頭の牛がむかえてくれました。朝は五時半から仕事が始まりました。友子さんは次男が仕事に出る為、朝食の準備があり六時から牛舎に入ります。家族四人で、掃除、餌やり、乳しぼり等分担し、朝食は八時半頃になるそうです。餌は一日四回。ご主人とは青年団で知り合い結婚。牛を一緒にかう事は、結婚の時の約束。実家のお父さんは、娘を思いやり牛をかうなんて無理だと反対をされたと話してくれました。「うれしかった事は？」との問いに「長男が、自分から酪農の仕事を継いでくれた事。本当にうれし



畜舎で牛に餌をあげる久保田友子さん

かった。小さい頃から牛舎の中が遊び場、命の大切さとかを自然の内に学んでくれたのかな。お嫁さんが来てくれるかどうか、ちよっと心配。」と笑顔で話してくれました。牛のおかげで生活ができる、感謝をし、仕事に生きがいをもち、自然体の中にも、芯がしっかり通った友子さんでした。大好きな読書で鋭気を養い、これからも、ご家族で力を合わせて頑張ってください。

編集後記

不況や冷夏、異常気象などで農作物を初め、山の幸の茸も不作、又、海外ではイラク戦争、イランの大地震など暗いニュースが多い一年であったが、本年は農作物が豊作で、不況がやわらぎ平和な一年であってほしいと願うものです。

新春三日には成人式が行われ新成人百十人が誕生した。好転しない経済状況下で大変だと思いが頑張ってほしいと思う。消防団の出初め式も晴天に恵まれた中で行われた。無火災が続いていたが戸中の空屋火災で元に戻ってしまった。火災だけでなく、いつ来てもおかしくない東海地震に備えて行政でも本腰を入れて取り組む一年であってほしい。

高森町と共同で進めてきた合併の資料が出来上がって各戸に配布された。一月二十二日から村政懇談会が開かれご意見を聞く事になる。活発な話し合いがもたれる事を期待する。

高森町も同じく懇談会を開くと聞く。任意協議会を申し込むタイミングは近いうちにあると思うが、村長もいよいよ態度を決める時が近づいている。